



ほんきであれ



多古町立多古第一小学校
2026年3月19日第29号(132号)

—たくましく生きる子どもの育成—

令和7年度 卒業証書授与式 ～御卒業おめでとうございます～



3月19日(木)、令和7年度卒業証書授与式を挙行了いたしました。春の訪れを感じる穏やかな季節の中、卒業生66名全員が厳粛な雰囲気のもと、堂々と卒業証書を受け取りました。その姿は大変立派で、頼もしさを感じさせるものでした。

式では、卒業生が心のこもった呼びかけと美しい歌声を披露しました。また、それに応えるように、歴史と伝統を受け継ぐ在校生の呼びかけや歌声も大変素晴らしく、会場全体が温かい一体感に包まれました。本当に心に残る卒業式となりました。

今年度も、6年生を中心に校訓「ほんきであれ」の精神のもと、全校が一つとなって協力し合い、運動会をはじめとする学校行事、委員会活動、部活動などに全力で取り組んできました。11月13日には、創立150周年記念式典並びに校内音楽会を、全校児童・保護者・地域の皆様と心をつなげて実施し、素晴らしい式典と会となりました。御協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さんには、校訓「ほんきであれ」の精神を胸に、本校で学んだ経験を糧として、中学校でも自分の目標に向かって努力を続けてほしいと願っています。

最後に、保護者の皆様には、これまで本校に寄せていただいた多大なる御支援と御協力に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

卒業証書に込められた思い 卒業生へ

自分の卒業証書を、そっと開いてみてください。最初に「卒業証書」と書かれていますね。この証書は、皆さんが小学校を卒業したという確かな証です。

次に、自分の**名前**が書かれています。世界にたった一つしかない、**あなただけの卒業証書**です。だからこそ、そこにはしっかりとあなたの名前が記されています。その名前を、どうかじっと見つめてみてください。小学校生活の中で、あなたの名前は何度呼ばれてきたのでしょうか。今日の卒業証書授与では、担任の先生が皆さん一人一人の名前をしっかりと呼びました。皆さんは今日、卒業します。担任の先生が小学生として皆さんの名前を呼ぶのは、これが最後です。

2番目に書かれているのは、あなたの**誕生日**です。ここに記されたその日に、あなたは生まれました。その日はどんな日だったのでしょうか。晴れていたのでしょうか。寒かったのでしょうか。どんな日であったとしても、家族はあなたが生まれてきたことを心から喜んでくれたはずです。**あなたの命がこの世に生まれた日**なのです。

そして今日まで、どれほど多くの方々に支えられてきたことでしょうか。風邪で熱が出たとき、心配してくれたのは誰でしょうか。忘れ物をしたとき、そっと学校に届けてくれたのは誰でしょうか。大会や運動会、遠足の日に、お弁当を用意してくれたのは誰でしょうか。

あなたの命は、生まれた日からずっと、多くの人に見守られてきました。

手のひらを見てください。手を広げ、薬指・中指・人差し指を曲げてみましょう。残るのは小指と親指です。**小指はあなた。親指は家族、先生方、親戚、地域の方々**です。そっと小指と親指を近づけてみてください。親指は自然と小指の方へ向きます。**あなたがどこを見ても、家族や先生方、そして多くの人が、いつもあなたを見守っている**ということです。

これからつらいこと、寂しいこと、苦しいことがあるかもしれませんが。そんなときは歯を食いしばり、手を握りしめ、そっと小指と親指を近づけてみてください。**あなたは決して一人ではありません。必ず誰かがあなたを温かく見守っています。**

3番目に、卒業証書の中央には、皆さんが小学校課程を修了し、卒業したことが大きく記されています。そしてその日付は**令和8年3月19日**、まさに今日です。今日を境に、皆さんは新たな一歩を踏み出します。

最後に書かれている番号は、あなただけの番号です。**多古第一小学校の第一回卒業生からずっとつながってきた、大切な歴史の一部**です。あなたはその伝統の中に確かに存在しています。

どうか、**校訓「ほんきであれ」**を胸に、力強く未来へ羽ばたいていってください。

